

経営比較分析表（平成29年度決算）

熊本県地方独立行政法人くまもと県北病院機構 公立玉名中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	21	対象	ド透I未	救臨災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
-	19,013	非該当	7:1	

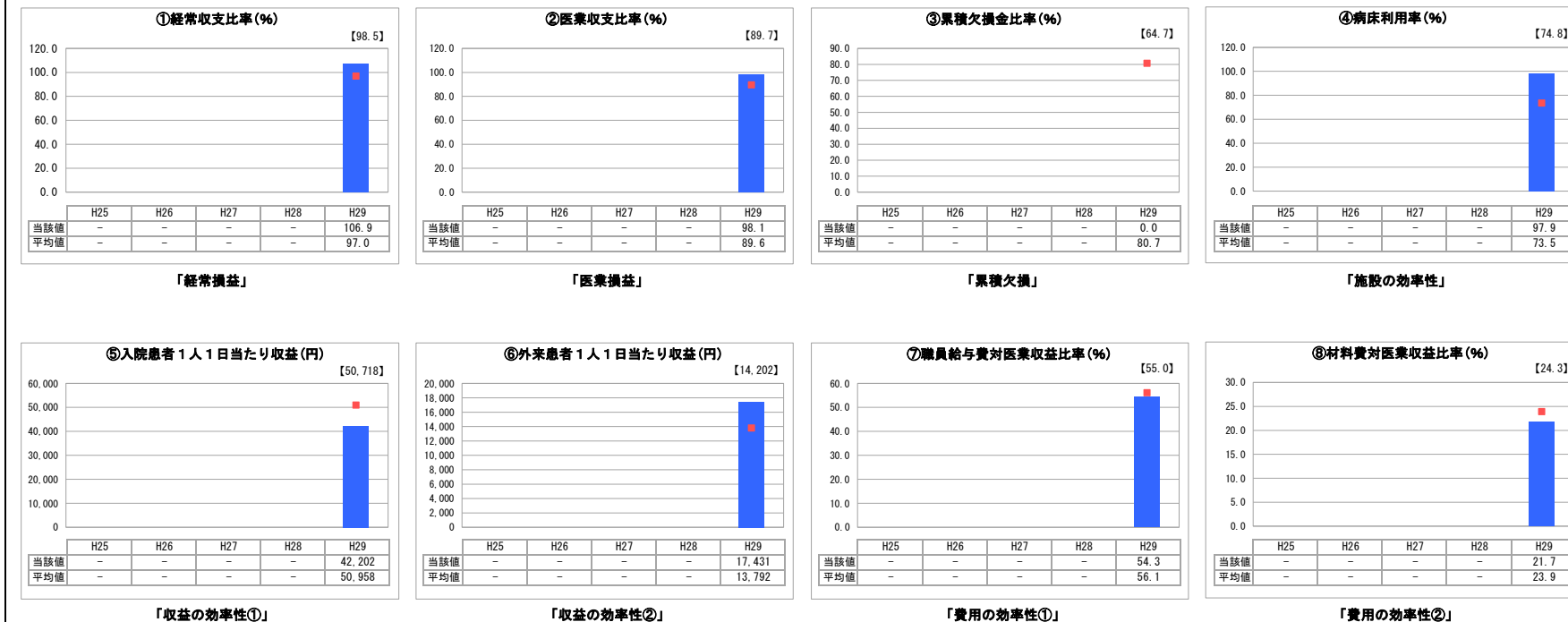
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
302	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	302
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
302	-	302

グラフ凡例
 ■ 当該病院値(当該値)
 - 類似病院平均値(平均値)
 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

I 地域において担っている役割

当病院は、玉名地域で最も多くの病床数を抱え、地域の中核を担う病院である。救急告示病院として、病院群輪番体制により地域の二次救急を担っている。平成9年に有明保健医療圏域内で唯一の災害拠点病院の指定を受け、災害時の救急医療の拠点機能も果たすとともに、地域医療支援病院として、地域の医療資源を支えており、また、公立病院として、地域の民間病院が困難な高度医療、救急・小児等の不採算・特殊部門に関わる政策的医療の提供を行う急性期病院としての重要な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地方独立行政法人化して、半年間の決算ではあるが、経常収支・医業収支・病床利用率・外来患者一人一日当たりの収益が類似病院の平均値を上回る数値を示しており、安定した状況を維持している。費用の効率性を示す比率においては類似病院の平均値を下回りコストを抑えた効率的な経営状況となっている。今後も安定した経営状況が維持できるように努める。

2. 老朽化の状況について

平成29年10月に地方独立行政法人に移行の際に、資産の再評価を行い、時価算定したため低い数値となっている。現在、昭和56年建設での建物で耐震性の基準を満たしていない病棟があるが、今回進行中の新病院建設が平成32年度中には、開院予定である為、現在の施設でその間は対応する。医療機器については、老朽化が進んでいるものは、新規更新を行い、使用可能なものについては新設する。

全体総括

平成29年10月に経営形態を地方公営企業法全部適用から地方独立行政法人へ変更し、平成30年4月に玉名郡市医師会立玉名地域保健医療センターと経営統合することが決定した。病院経営の最重要課題である医師確保については、常勤医師数を平成28年度の50名から64名へと増員する事が出来た。結果として血液内科の新設、皮膚科医師の常勤化、腎臓内科・循環器内科・総合診療科それぞれの医師増員による機能強化ができた。